

製品安全データシート

製造者情報

会 社 ナカライテスク株式会社
住 所 京都市中京区二条通烏丸西入ル
担当部署 製造部
電話番号 075-932-1755
F A X 番号 075-932-4872
作 成 1995年12月15日
改 正 2001年 6月 8日
2005年 6月28日

MSDS No. 10217

製 品 名 シクロペンタン

物質の特定

単一製品・混合物の区別：単一製品
化 学 名 : シクロペンタン
成分及び含有量 : 98.0%以上
化学式又は構造式 : C₅H₁₀
官報公示整理番号 : 化審法； -
安衛法； -
C A S No. : 287-92-3
国 連 分 類 : クラス3 等級
国 連 番 号 : 1146 (シクロペンタン)

危険・有害性の分類

分類の名称：引火性液体
危 険 性：引火性が高い。蒸気/空気の混合気体は爆発性。
有 害 性：吸入した場合、めまい、し(嗜)眠、頭痛、吐き気、意識喪失、嘔吐、
脱力感を起こす。飲み込んだ場合は、腹痛、めまい、し(嗜)眠、吐
き気、咽頭痛、意識喪失、嘔吐を起こす。皮膚に触れた場合には、発
赤を起こす。眼に入った場合には、発赤、痛みを起こす。
環境影響 : データなし

応急措置

眼に入った場合 : 直ちに清浄な水で15分間以上洗眼した後、速やかに眼科医
の手当てを受ける。洗浄はまぶたを親指と人差し指で拡げ、
同時に眼をあらゆる方向に動かす。
皮膚に付着した場合 : 直ちに汚染した衣服を脱ぎ、触れた部分を多量の水で洗い流
す。皮膚に炎症を生じた場合は、速やかに医師の手当てを受け
る。
吸入した場合 : 直ちに患者を空気の新鮮な場所に移し、毛布等で保温して安
静にさせ、速やかに医師の手当てを受ける。呼吸が停止して
いる場合は人工呼吸を行ない、呼吸困難な場合は酸素吸入を
行なう。
飲み込んだ場合 : 意識のある場合は、多量の水を飲ませた後吐かせ、速やかに
医師の手当てを受ける。意識のない場合には、口から何も与
えてはならないし、吐かせようとしても行けない。

10217

火災時の措置

消火方法：火元への燃焼源を断ち、適切な消火剤を用いて消火する。
周辺火災場合、速やかに容器を安全な場所に移す。移動不可能な場合には、容器及び周囲に散水して冷却する
消火作業は風上から行い、必ず保護具を着用する。
消火剤：粉末，二酸化炭素，乾燥砂，泡

漏出時の措置

漏洩した場所の周辺に、ロープを張る等して人の立入りを禁止し、漏洩したものは密閉式の空容器に出来るかぎり回収し、その後を大量の水で洗い流す。この場合、濃厚な廃液が河川等に排出されないようにする。その際は、必ず保護具を着用し、風上から作業する。

取扱い及び保管上の注意

取扱い：蒸気を吸い込んだり、眼、皮膚及び衣類に触れないように、適切な保護具を着用する。取扱い後は手洗い，洗顔を十分に行なう。
保管：直射日光を避け、風通しの良い冷暗所に密封して保管する。

暴露防止措置

管理濃度：未設定
許容濃度：日本産業衛生学会；未設定
ACGIH；600 ppm (TWA)
設備対策：屋内作業場での使用の場合は発生源の密閉化、又は局所排気装置を設ける。取扱い場所の近くに安全シャワー、手洗い、洗眼設備を設け、その位置を明瞭に表示する。
保護具：有機ガス用防毒マスク，送気マスク，空気呼吸器，保護眼鏡，保護手袋，保護眼鏡，保護手袋，保護長靴等を使用する。

物理 / 化学的性質

外観等：無色の液体
沸点：49 蒸気圧：45 kPa (20) 揮発性：なし
融点：- 比重又は嵩比重：0.745 (20)
初留点：-
溶解度：水に不溶、アルコール，エーテルに可溶

危険性情報 (安定性・反応性)

引火点：-42 発火点：380
燃焼範囲：下限；1.4 vol% 上限；8.0 vol%
可燃性：あり
発火性 (自然発火性、水との反応性)：水との反応なし
酸化性：データなし
自己反応性・暴発性：データなし
粉じん暴発性：-
安定性・反応性：通常条件下では安定。
その他：データなし

有害性情報

皮膚腐食性：データなし
 刺激性（皮膚、眼）
 ：蒸気は皮膚や眼の粘膜を刺激する。
 感 作 性：データなし
 急性毒性（50%致死量等を含む）
 ：吸入 マウス LC₅₀ 110,000 mg/m³
 蒸気を吸入した場合、鼻、咽頭の粘膜が刺激される。
 亜急性毒性：データなし
 慢性毒性：データなし
 がん原性：データなし
 変異原性（微生物、染色体異常）
 ：データなし
 生殖毒性：データなし
 催奇形性：データなし
 その他（水と反応して有害なガスを発生する等を含む）
 ：データなし

環境影響情報

分解性：データなし
 蓄積性：データなし
 魚毒性：データなし
 その他：-

廃棄上の注意

アフターバーナー及びスクラバーを具備した焼却炉の火室へ噴霧し、焼却するか、又は許可を得た産業廃棄物処理業者に処理を委託する。

輸送上の注意

運搬に際しては、容器の漏れのないことを確かめ、落下、転倒、損傷がないように積み込み、荷崩れ防止を確実に行う。その他、消防法に定めるところに従う。

適用法令

消防法 ：第2条危険物第4類第1石油類非水溶性液体（200L）
 労働安全衛生法：施行令別表第1危険物（引火性の物）
 施行令第18条の2（名称等を通知すべき有害物）
 海洋汚染防止法：施行令別表第1有害液体物質（C類）
 危規則 ：第3条危険物告示別表第5引火性液体類（H-上・下/禁止等級
 2）
 航空法 ：施行規則第194条危険物告示別表第3引火性液体（G-等級2）
 港則法 ：施行規則第12条危険物（引火性液体）
 PRTTR法 ：該当せず

10217

その他

参考文献 14705の化学商品 化学工業日報社(2005)

*危険、有害性の評価は必ずしも十分ではありませんので、取り扱いには十分注意をお願いします。

*記載内容のうち、含有量、物理化学的性質の値は保証値ではありません。

*注意事項等については通常の手扱いを対象としたものですので、特殊な取り扱いについては、この点のご配慮をお願いします。